

論点等説明シート

事業名	レセプト電算処理システムの推進に必要な経費					
予算の状況 (単位:百万円)		28年度	29年度	30年度	31年度	32年度要求
	予算額(補正後)	1,457	949	983	686	/
	執行額	1,011	684	893	/	/
	執行率	69%	72%	91%	/	/

事業についての論点等

(事業の概要)

「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、レセプト情報・特定健診等情報を適切に収集するとともに、行政機関や医療サービスの質の向上等を目指した研究又は学術の発展に資する目的で行う研究に対して、当該情報の提供を行う。

(論点)

ONDBに蓄積されたビッグデータを有効に活用する観点から、オープンデータをより充実させるなど、より多くの国民が利活用できる方策を検討するべきではないか。

国の保有する医療ビッグデータの活用は、これまでも繰り返し指摘を受けており、さらなる有効活用に向けて、事業内容を検討する必要がある。

【参考】行政事業レビューシートより
 成果目標 第三者提供の安定した供給を図る
 成果指標 第三者提供の承諾件数

	H28	H29	H30
成果実績(件)	42	41	61
成果目標(件)	34	42	58

○医療・介護情報を連結して分析可能とする環境整備に向けて、NDBについても、その内容や利活用などをより充実させるため、データ収集、提供方法などについて、改善を検討するべきではないか。

医療・介護のデータを連結・解析できるシステムを2020年度から本格稼働させるための環境整備のうえで、本事業の改善等を通じ、NDBのさらなる充実を図るための検討が必要であると思われる。

【参考】新経済・財政再生計画改革工程表2018より
 ii 「保健医療データプラットフォーム」の2020年度本格運用開始
 データヘルス改革を推進し、被保険者番号の個人単位化とオンライン資格確認を導入するとともに、「保健医療データプラットフォーム」について、2020年度の本格運用開始を目指し取り組む。